

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0006  
 住 所 川崎市川崎区砂子2-11-1  
 氏 名 川崎信用金庫  
 理事長 草壁 悟朗

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎信用金庫		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区砂子2-11-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	J	金融業, 保険業
	中分類	63	協同組織金融業
主たる事業 の内容	地域金融機関		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,781	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度(報告年度 平成29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当金庫の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページで公表しています。 <a href="http://www.kawashin.co.jp/local/kankyuu/houshin.html">Http://www.kawashin.co.jp/local/kankyuu/houshin.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,303 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,248	(実) 3,335 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,280	(実) 3,496 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,438	(実) t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>	(実) 3,203 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,150
削減率		(実) -1.0 % (調) -1.0 %	(実) -5.8 % (調) -5.8 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出原単位等の値	0.06315	0.06568	0.06662		0.06123
削減率		-4.0 %	-5.5 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	平成28年度は、クールビズ・ウォームビズを継続実施したものの、30年1月のシステム更改に向けたプロジェクト推進等通常と異なる業務が増加したこと等が影響し、電力使用量は全体で前年を0.28%上回り、結果温室効果ガス排出量は0.97%、排出量の原単位では4.0%基準年を上回ることとなりました。
第2年度	平成29年度は、クールビズ等の省エネ策は継続したものの、30年1月のシステム更改に向けて、年度当初より新旧両システムが稼働していたことに加え、全店で超勤対応による新システム習得に努めたこと等が影響し、電力使用量は全体で前年を5.02%上回り、結果温室効果ガス排出量は5.84%、排出量の原単位は1.81%それぞれ基準年を上回ることとなりました。尚、新システムは外部の共同システム利用のため、今後の電力消費は削減が見込まれます。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	1. 設備面は総務部主体、運用面は全店の推進体制で省エネに取り組む 2. 本店設備の更新 3. 支店、有人出張所設備の更新 4. 無人出張所設備の更新 5. 本支店事務所等の節電管理
	第1年度	2. 本店設備の更新 (ATMバックヤード、2階人事教育部、4階全体、9階食堂従業員室の空調機更新。3階送排風機の更新。4・5・6・8階に窓フィルム工事施工。) 3. 支店、有人出張所設備の更新 (3店舗で照明器具更新。5店舗で空調機更新。) 4. 無人出張所設備の更新 (1店舗で空調機更新。) 5. 本支店事務所等の節電管理 (空調に関しては冷房は室温28度、暖房は20度以下を徹底。照明に関しては、50%程度の間引きを継続実施)
	第2年度	3. 支店、有人出張所設備の更新 (2店舗で照明器具更新。9店舗で空調機更新。) 4. 無人出張所設備の更新 (1店舗で照明器具更新。) 5. 本支店事務所等の節電管理 (空調に関しては冷房は室温28度、暖房は20度以下を徹底。照明に関しては、50%程度の間引きを継続実施)
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境に配慮した金融商品の取扱。</li> <li>2. コピー紙、トイレトペーパーは再生紙を利用する。</li> <li>3. 粗品の一部（ポケットティッシュ）を環境に配慮したものを使用する。</li> <li>4. 廃棄物の減量化・分別化の推進をする。</li> <li>5. クールビズ・ウォームビズを実施する。</li> </ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境に配慮した金融商品の取扱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境アシスト定期預金」を取扱い、利息相当額を当金庫が緑化基金に寄付。</li> <li>・事業性融資「環境アシスト」を取扱い、環境に配慮した設備投資をする事業先を資金面で支援。</li> </ul> </li> <li>2. トイレトペーパーの再生紙利用。</li> <li>3. 粗品のポケットティッシュは環境に配慮したものを使用。</li> <li>4. 廃棄物の分別化を推進して、再資源化に努めた。</li> <li>5. クールビズ・ウォームビズを実施し、冷房28度・暖房20度の設定に努めた。</li> </ol>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境に配慮した金融商品として、預金では「かわしん緑化アシスト定期預金」により、契約金額の一定割合を緑化基金に寄付。融資では事業性融資「環境アシスト」により、環境に配慮した設備投資をする事業者を支援。また「リフォームローン・エコ」により、エコ関連設備の購入・設置する個人を資金面で支援。</li> <li>2. トイレトペーパーの再生紙利用。</li> <li>3. 粗品のポケットティッシュは環境に配慮したものを使用。</li> <li>4. 廃棄物の分別化を推進して、再資源化に努めた。</li> <li>5. クールビズ・ウォームビズを実施し、冷房28度・暖房20度の設定に努めた。</li> </ol>
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,373	t-CO <sub>2</sub>
(調)	3,296	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
本店	川崎市川崎区砂子 2-11-1	6300	主として管理事務を行う本社等	1,651 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	73

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--